

囲碁・将棋

じっくり考える力を養う

もっと楽しみたい

岩手の長い冬はボードゲームを楽しむにはぴったりの季節。なかでも昔から親しまれているのが囲碁と将棋です。どちらかというとお年寄りの趣味というイメージがありますが、映画やマンガの題材にもなっており、最近では子どもたちにも人気とか。そんな囲碁と将棋の魅力に迫りました。

将棋

もっと将棋を普及させたい

盛岡駅前のビルの2階にある「将棋サロン盛岡」はオープンして間もなく2年。定休日以外なら、いつでも誰でも思い立った時にふらりと立ち寄り、将棋を楽しめる道場です。

席主(オーナー)は子どもたちに将棋を教えることができる「日本将棋連盟将棋普及指導員」の資格を持つ藤村信男さん。

「都心にはプロ棋士が運営する将

棋道場がたくさんあって、子どもたちが将棋に親しみ、学べる環境に恵まれています。残念ながら岩手はそうではなく、プロ棋士もまだいません。だから、週末の午前中に子どもを対象とした教室を開くなどして、育成に力を入れています。平日の午後はお年寄りのみなさんが、夕方や土日は子どもや学生さんがふらりと訪れますよ」



◀「将棋サロン盛岡」の席主、藤村信男さん。アマチュア3段。「将棋は年齢や性別の区別なく、楽しめませう。このサロンから将来のプロ棋士を誕生させるのが目標です」

床にべたりと座って将棋を楽しむ小学生も▶



写真ルポ 将棋道場って、どんな所?



お邪魔した「将棋サロン盛岡」の席数は最大で36席。利用時間は平日12時~20時、土日祝日は10時~20時。取材に伺ったのは土曜日の夕方4時でしたが、20人弱の利用状況でした。意外と子どもたちや学生が多い!



初めて利用する場合は、「手合いカード」に記入します。段や級などがわかる人は棋力も記入して。ちなみにこのサロンの利用料金は1回大人500円、高・大学生300円、中学生以下と女性は200円。昼食などでの外出もOK



いよいよ対局スタート!「駒落ちで同じぐらいの実力にして戦うので、相手が子どもだからといって油断はできません」と話す、盛岡市の佐藤祐介さん(右)。パシッという駒音もネット対局にはない魅力



お母さんに連れて来てもらってからサロンに通うようになった小学生。ほぼ毎日通っています



取った駒はきちんと駒台に置きます。手で隠して相手に見せないようにするのはルール違反



手つきがさまになっている小学4年生。「おじいちゃんの家で将棋盤があって、教えてもらってやっていたうちに面白くなった」。ちなみに将棋で使えるのは片手だけ

囲碁

「碁石」つながりで、大船渡を囲碁の町に



碁石のような黒い丸石があることで知られる大船渡の名勝・碁石海岸。大船渡では「碁石＝囲碁」ととらえ、囲碁を活用した町づくりが行われています。

台湾から女流棋士や盲学校の生徒を招いて交流大会を開いたり、「三面碁」で知られる熊野神社に石の碁盤を奉納し「囲碁神社」と位置付けたりして囲碁のまち・大船渡をPR。市でも今年、5月14日を「碁石の日」に制定するなど、国民一体の活動が加速しています。

なかでもユニークなのが視覚障害者に囲碁を楽しんでもらう取り組み。活



今年6月に開催された「碁石海岸で囲碁まつり」の日台交流囲碁大会の様子。多くの囲碁ファンが駆けつけました(写真提供/大船渡市観光推進室)



碁石埼灯台の下にある大正時代に設置された石の碁盤。もともと3つあったと言われていますが現在もあるのはこの1つだけ。残る2つは再建され、ひとつは囲碁神社(熊野神社)に、ひとつは碁石に設置されています

動の中心的な役割を担う「碁石海岸で囲碁まつり実行委員会」の木谷正道委員長によると、視覚障害者は空間の認識力が高いうえに集中力があり、碁石の適性があることが最近になってわかってきたとか。視覚障害者用の特製碁盤「アイゴ」の開発の後押しもあって、囲碁に対する関心が高まっていると話します。

4回目となる来年の囲碁まつりでは「第1回全国盲学校囲碁大会」を開催予定。さらに国内外から多くの囲碁ファンを集めそうです。

将棋は棋力(実力)のみがものを言う世界。性別や年齢は関係ありません。たとえ棋力が異なっても「平等(対等)」ではなく、「駒落ち(ハンディを付けること)」で対局できるので、道場では大人と子どもが対局するのがごく当たり前の光景です。

今はネットで気軽に将棋が指せる時代。あえて道場で対局する魅力はなんでしょう。

「感想戦でしょうか。自分の手のどこが良かったのか、悪かったのか、相手と対局を振り返る反省会のようなものですが、感想戦ができるのは実際に人と人が向き合って対局すればこそ。結局、将棋盤を通じた交流ができるのが一番の魅力です」



一手指すごとにボタンを押すと、相手の時計が動く仕組みになっている対局時計。ボタンを押す手と将棋を指す手は必ず同じ手で行います



他の人の対局を観戦するのも勉強のうち。学生服の2人は一関工業高校の囲碁将棋部の部員。顧問の先生に連れられて来ていました



道場での対局は相手の緊張感がダイレクトに伝わってきます。この日は大学や高校の将棋部の学生が多く訪れており、相手を変えて何度も対局が行われていました…

●取材協力/将棋サロン盛岡
盛岡市盛岡駅前北通4-17 CA BUILD-2 2階
☎019(613)2231 定休日/木曜

三陸鉄道盛駅と釜石駅で貸し出し中! これが「アイゴ」です

碁盤の線がレール状になっていて、碁石の裏側につけた溝をはめる仕組みになっている特製碁盤「アイゴ」。黒の碁石に突起が付いていて、手でなぞれば碁石の配置も把握が可能。視覚障害があっても囲碁ができるほか、揺れる列車の中でも囲碁が楽しめます。

三陸鉄道南リアス線盛駅と釜石駅では、三鉄車内で使用する場合に限って「アイゴ」の貸し出しを行っています。1台500円。

●問い合わせ/三陸鉄道盛駅 ☎0192(47)3542



裏に溝があるので碁石が固定されるアイゴ

ネットで世界中の囲碁ファンと対局 「岩手日報囲碁サロン」

「岩手日報囲碁サロン」は世界中の囲碁ファンと対局できるインターネット上の囲碁サロン。24時間いつでも利用できるのも、碁会所などに行けない人はぜひご利用を。料金など詳しくは、岩手日報のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.pandanet.co.jp/a/iwate-nippo/index.htm>



好きな時間にネットにつなぐだけ。他の人の対局を観戦したり、実力に応じた相手との対局が可能です